

大瀧神社・滝澤大滝

城内地区の集落から、川尻川脇の道を、途中にある標識(「滝澤大滝」「滝沢」)を目印に西に進むと、赤い鳥居と赤い屋根の『大瀧神社』が見えてきます。



ここの龍の彫り物は、少し怖いかも・・・

ご神体である『滝澤大滝』から連想してか、鯉の滝登りの彫り物も！

他の彫り物も見事ですよ。



神社の左手に鳥居があり、その先に滝が見えます。

急な階段があり、降りてみましたが、見事に足を滑らせ腰を打ってしまいました。

神社の右手に緩い坂道もあるようなので、そちらから降りたほうがぶなんかも。



4月初旬のこの日は、水量もあり、迫力ある滝の姿を見ることができました。

ちなみに、大瀧神社の主は大蛇であるといわれています。

この大蛇が通った跡は草が枯れ、姿を見た人は体が悪くなっていき、生きることができなくなると言い伝えられているそうです。

草が枯れていたら気を付けて！

